

天草の未来を担う子どもたちからの メッセージ

私たちの学校では、毎年5月と11月に栖本町の河内川清掃活動を行っています。今年も5月18日にホテルの会の方々のご指導のもと、中学生と小学生が参加して、河内川とその周辺の清掃を行い、たくさんのごみを収集することが



天草市立栖本中学校
3年 緒方 祥麻 さん

できました。
特に私は、中流の川底とその周辺の草むらの清掃を行いました。一見きれいに見える河内川も中に入ってみると空き缶やプラスチックごみがあり、しっかりと足を踏み入れて掃除することの大切さを実感することができました。この体験から、自分も地域の環境美化のために、小さな貢献ができるということが分かりました。これからも、多くのボランティア活動に参加し、自分自身が社会の役に立つ人間になれるように頑張りたいと思います。

今年も、たくさんの方のホタルを河内川で見ることができました。私たちの河内川の美しい風景を守り、たくさんの方に見ていただけるようにしたいです。



私の住んでいる御所浦は、海がきれいで、化石が有名で、日本ジオパークにも認定されています。そして何より地域の方々がとても優しいです。しかし、御所浦には若者が少なく、少子高齢化という課題があります。その原因の1つ



天草市立御所浦中学校
3年 若木 穂菜美 さん

として考えられることは、職場が少ないということ。職場が少ないと仕事を求める若者は職場の多くある地域に行ってしまうため、職場の少ない地域では、若者は減っていくと思います。
このような課題を改善するため、雇用促進対策が必要だと思います。具体的な方法として、御所浦で事業を興す人には支援金を出したり、御所浦島外から働きに来る人には船代の補助をしたり、島外から移住する人には無償で家を提供したりしてはどうでしょうか。ホームページなどを活用して

求人募集をするのも1つの方法だと思います。若者の雇用を促進することで、御所浦を訪れる人や、住む人が増えます。そうすれば地域も活性化すると思います。このことは御所浦に限らず天草市全体にもあてはまることだと思います。
このまま少子高齢化が進み、御所浦の人口が減っていけば、御所浦はいつか無人島になりかねません。私は生まれ育ったふるさと御所浦をこれからも大切にしたいです。御所浦や天草が、活気あふれる地域になることを願っています。

編集後記

7月4日、台風3号が九州に上陸し、大雨となりましたが、幸い天草では大きな被害はありませんでした。しかし、他の地域では大雨による被害が発生し、避難勧告、避難指示が出されたところもあり、天草市でも避難所が開設されたとの情報がメールで配信されました。

毎年「異常気象」と耳にします。台風、ゲリラ豪雨、竜巻など、自然災害は、いつ発生するかわかりません。ニュースや、ラジオでの情報や、市役所からのメールなどで安全確保に努めていただきたいと思っています。ぜひとも、天草市の「安心・安全メール」の登録をお願いいたします。

また、暑い日が続きますので熱中症にも気を付け水分補給を忘れずに！

柴田 誠

副委員長
蓮池 良正

委員長
濱洲 大心

宮下幸一郎

下田昇一郎

天草市議会広報聴取委員会